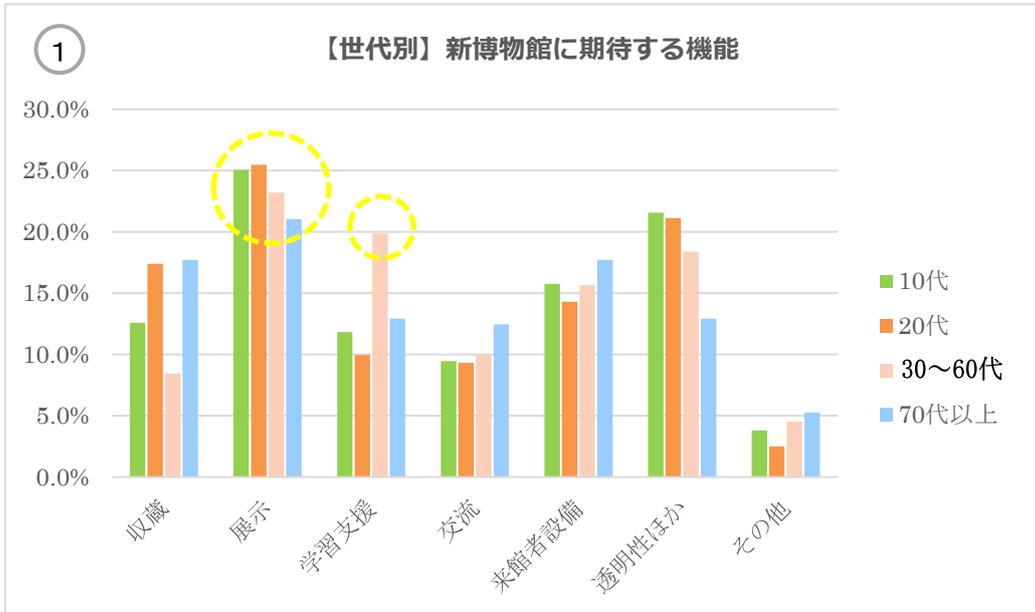


(乃村工藝社協力)

■ 世代別傾向分析

【①世代別にみる、博物館に期待する機能】

全体として「交流」機能より「展示」が充実することへの期待が高く、特に30～60代は、「学習支援」機能に期待していることがわかりました

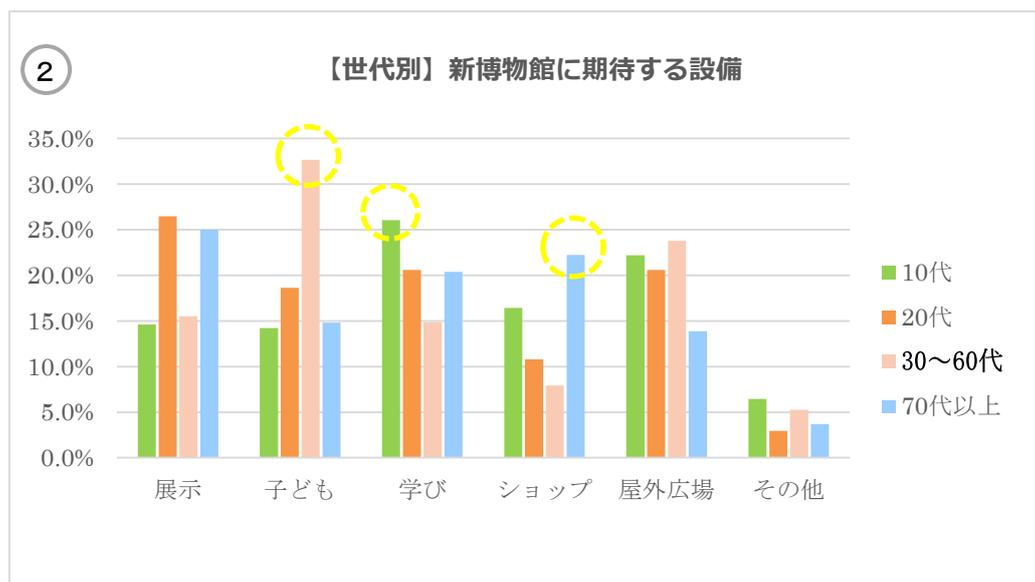


[分析内容]

- ・どの世代も展示の充実には期待が高い。
- ・30～60代の学習支援機能への期待度が他の世代と比較すると特に高い。

【②世代別にみる、博物館に期待する設備】

10代は「学び」、30～60代は「子ども」のためのスペース、70代以上は「ショップ」と、世代でニーズが異なることがわかりました



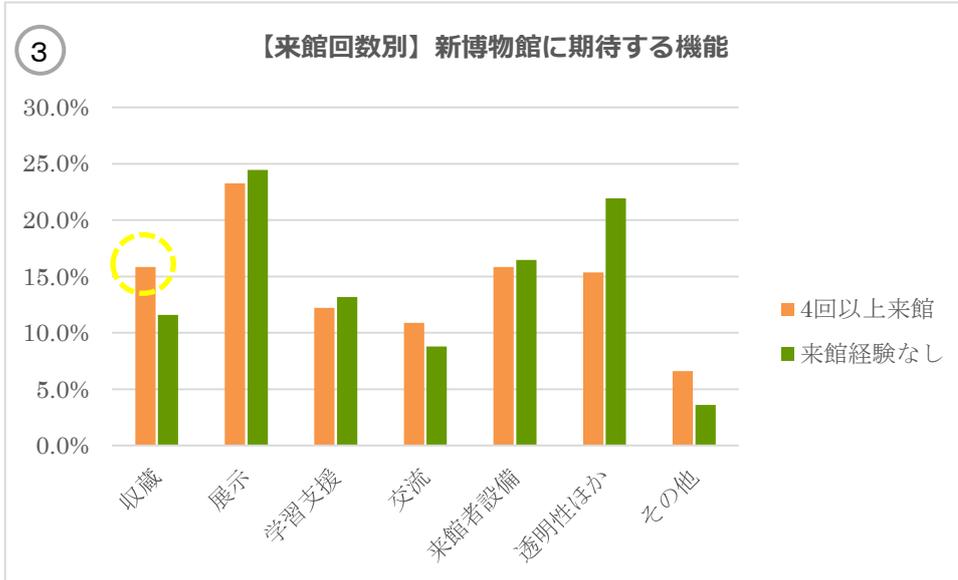
[分析内容]

- ・10代には学びの場へのニーズが高い。
- ・屋外広場へのニーズは、10代20代と30～60代に高い。
- ・30～60代の最大のニーズは子どものスペース。
- ・70代以上の方のショップへのニーズの高さが特徴的。

■ 来館回数別傾向分析

【③来館回数別にみる、博物館に期待する機能】

来館経験のない方に比べて収蔵機能への期待が高いなど、
リピーターの方が「博物館の存在意義」に対する理解の深さが見受けられました

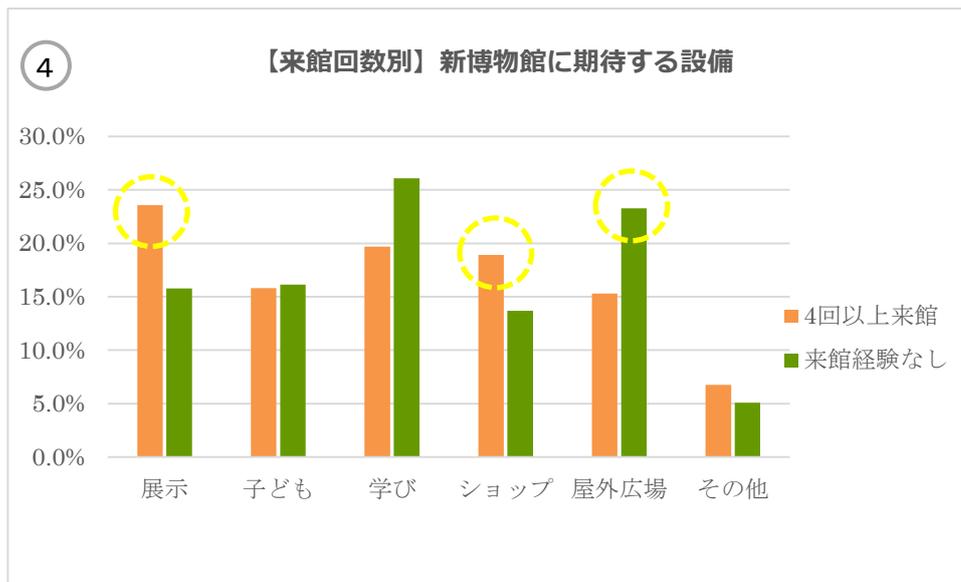


[分析内容]

- ・来館経験のない方は、収蔵機能への期待が低く、透明性ほかなどへの興味が高い。
- ・リピーターの方は、収蔵機能への期待が高い。

【④来館回数別にみる、博物館に期待する設備】

来館経験のない方は「屋外広場」、
リピーターの方は「展示・ショップ」への期待が高いことがわかりました



[分析内容]

- ・リピーターの方の展示へのニーズが高い。
- ・ショップへのニーズもリピーターの方が高い。
- ・来館経験のない方は、学びの機能や屋外広場といった場への関心が高い。